一人一人が生き生きと活動する
明るく楽しい学校

かいどり

令和５年度　学校だより　　　　　　　　　　令和５年６月３０日

http://schit.net/tama/eskaidori

多摩市立貝取小学校
校長　鈴木　純一郎

１学期の学校生活のまとめを行います

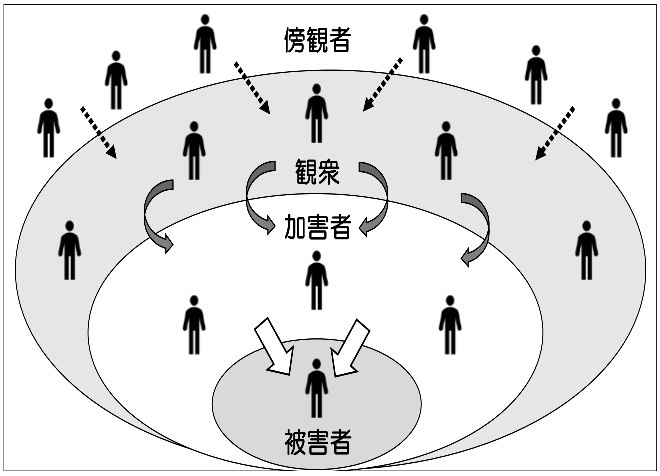
～安心できる集団づくりの推進～

梅雨の合間の晴れた日は、校庭で汗をかきながら元気よく友達と遊ぶ子供たちの姿がたくさん見られます。７月を迎えて学校では、１学期の学校生活、学習のまとめを進めてまいります。

入学、進級した４月当初、子供たちは期待感や希望を抱く半面、環境や人間関係の様子が変わり、不安を感じたこともあったと思います。保護者の皆さま、ご家族の皆さまの学校へのご協力により、子供たちが安心して学校に通い、友達とともに様々な経験を通して成長し、個々に成果が得られています。

終業式までの期間は、これまでの学校生活を振り返り、努力をしたことやできるようになったことなどを確認します。また、うまくできなかったところや苦労していることなど、自分自身の苦手なところにも着目してその対策を考えます。各担任からは、保護者会や夏季休業中の個人面談を通して子供たちの１学期間の学校生活での成果と改善すべき課題などをお伝えしていきます。

貝取小学校では、学級、学年、きょうだい班など複数の異学年、学校全体など学校生活を送るうえでの集団の状況を把握し、人間関係上の問題が生じたときには迅速に対応するよう努めています。



６月最後の全校朝会では「いじめの４層構造」について話しました。教室のような集団内でいじめが起こるとき、被害者と加害者の周囲には、いじめをはやし立てるような行動をとる「観衆」と無関心を装い、身近に起きている事柄にかかわろうとしない「傍観者」が存在している傾向があります。

いじめを否定する学級の雰囲気づくりを推進し、いじめに結びつく行動を止められる人間関係や集団を構築していきます。学期末の学校生活へのご協力をよろしくお願いいたします。